

嶋原傾城町は朱雀野にあり、此所上古は鴻臚館の地なり、中頃は歡喜寿院の封境にして、西口の畠の字を堂の口と

いふ。又傾城郭は万里小路〔今の柳馬場なり〕二条の南方三町なり。其先は東山殿〔義政公〕遊宴の地なり。天正十七

年原三郎左衛門林又一郎といふ浪人上訴によつて、傾城町を免許せられ、一の郭をひらきしなり。地名を新屋敷と号し、

又柳の双樹あれば柳町とも称す。〔今の出口の柳は此遺風なり〕其より十三年を経て慶長七年に六条へうつされ、今の

室町新町西洞院五条橋通の南にて方貳町の郭なり、中に小路三通ありしにより三筋町と号す。〔六条通（今の魚棚なり）

西洞院川にかくる石橋は、傾城町の入口にして此時かけ初しなり、今にあり。又室町五条の南西側匠の居宅異風なり、

此時の忘八にして今に存せり〕

又寛永十八年に今の朱雀野へ移さる。島原と号することは、其頃肥前の島原に天草四郎といふもの一揆を起し動乱に及ぶ

時、此里もこゝにうつされ騒しかりければ、世の人島原と異名つけしより遂に此所の名とせり。